



1日で10種類以上の介助法をマスター!



じゃあ! 車いすへの移乗動作

~症例に合わせた介助法の選択と後輩指導のポイント~

日本離床学会
教育講座
講座コード J-2

2025年 1月13日 (月・祝) 10:00 ~ 16:10

実技コース認定対象

場 所: インターネット生ライブ中継

見逃し受講期間
2週間あり

講 師: 飯田 祥 先生 (日本離床研究会 学術研究部)

対 象: 看護師・PT・OT・ST・介護士

臨床で使える技術を増やしたいスタッフ (左記以外でも受講可)

受講料: 会員 9,800円 一般 12,800円 (税込) **新入会 会費無料** *定員になり次第締切り



難易度
★★★★☆

こんな患者さんムリでしょ!? そんな悩みを解決する手段とは?

「こんな大きな患者さんを介助したら自分も倒れちゃう」「後ろに突っ張るから腰を痛めちゃう」など、ひとくちに移乗介助といっても、悩みはつきません。そんな悩みを解消する秘策は、“患者さんのタイプ別に、介助方法を選択できること”。この講座では、一日中動画を使用した技術指導で、今まで思いつかなかった様々なパターンの移乗技術を、丁寧に解説します。動作の特徴を知り尽くしたベテランが教える楽々介助法! 知りたかったあの技術、自信のなかったあのテクニック...この機会に身につける絶好のチャンスです!

もう腰を痛めない! 症状別トランスファーを完全マスター

PROGRAM

1. 準備が何より大切って知っていましたか? 効率的な介助を実現するスタートポジションの取りかた
2. こんなに楽なの!? ボディメカニクスに基づく介助法とその理論
3. 移乗動作介助の実際
部分介助…… スタンダード/膝ブロック法/外側ブロック法/手つかみ法/背後からの介助法 ほか
全介助…… 膝もたれ法/かつぎ法/抱え込み法/足抱え法/坐骨把持法/平行移動法 ほか
4. どんな患者さんが来ても大丈夫! 症状とパターン別にみる適切な介助法の選択
5. これは役に立つ! ベテランから学ぶ指導法のポイント
6. こんな物があったら便利! 移乗動作お助けグッズ
7. 技術だけでなく実践力を身につける! 実際の症例を想定したシナリオ実習



Q 次のような状況の患者さんがいます。どの方法で介助しますか?
対応する介助法を線で結んでください。



患者さんが大きい



つかんでくる



後方につっぱる



アームレストをつかんで離さない

膝もたれ法

かつぎ法

手つかみ法

後方介助法



※この講座は離床アドバイザー習得コースの実技コース1単位を取得できます。
※本講座では動画やカメラを通じた講師の動きで技術指導を行います。

この問題の回答は当会ホームページをチェック!

受講方法

お問い合わせ・お申込先

- ① ホームページよりオンライン登録

臨床を元気に! 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 ブラーレルビル2F
ホームページ <https://www.rishou.org/>
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org

日本離床学会

検索

